様々な業種から届くため、

その求人の内容も建築専門だけではなく

くの先輩方が社会で活躍されており、そ 本校建築科は、百年の歴史があるため多 な力が学科試験や面接試験で試される。 づくりで養った集中力や発想力など様々 で培ったコミュニケーション能力やもの

おかげもあり求人票が毎年数多く届く。

これから社会でも大活躍する知覧中出

て下さい」と後輩達にエールを送った。 高校3年間の過ごし方ですので頑張っ

身者6名に期待したい

合格者若干名の試験である。

ることが大事。それを可能にするのは ことは難しいが、まず何かを始めてみ た。また、「18歳で職業を選択する

価を受けている。

二十二年度知覧中卒業

同 前野良輔君

同

寺師忠之君)

同

丸野倫寬君

本校ではその他の設計大会にも参加。 かごしま木の家設計大会優秀賞受賞

人学生の大会でも優秀賞を受賞

ズーム

CADとは







同

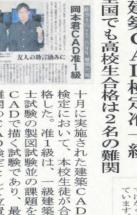
1月24日 金曜日 ^{発行者} 薩南建築新聞社 0993-83-2214

京王電鉄な 徳永祐太君

初

ソフトです。現在、プロの設計士も手書き ではなくCADを使ってデザイン作業をし の略で、バソコンで設計製図をするための コンピューター・エイディッド・デザイン

全国でも高校生合格は2名の難関 建築CAD検定准 級



就職試験は、入学してから3年間で身に

で業界世界一位の大手ガス会社で働き 旅行で会社見学をしたことがきっかけ 仕事に就きたいか迷っていたが、 進路報告会の中で「僕は、どのような

たいと考えるようになった。」と語っ

つけた技術や知識だけではなく、部活動

い試練の場に挑み見事合格を勝ち取った。 まり、各々の生徒が18年間で最も厳し 定した。就職試験は昨年9月16日に始

建築科3年生全員の就職が、昨年内に内

安藤君は、1・2年生を対象に開かれ

い進路選択を可能にしている。

平成二二年度知覧中出身者6名を含む

丸野倫寛君 た記事から。 (知覧中出身) 2級合格

験であり、2級といえど高校生合格者は県内でも建築CAD検定2級は、准1級に次ぐ難易度の試 写真は、南日本新聞に掲載され づけられ、企業からも高い評 難関のCAD検定として位置

初級CAD検定 知覧中出身全員合格

現2年生の安藤真人君、市坪貴也君、寺師忠之君、徳永祐太 前野良輔、丸野倫寛 (知覧中22年度卒業生) が初級CAD検定 に全員合格した。

建築科在校生の95%以上が各種CAD検定を取得し、就職 進学試験に向けて大きなアピールポイントを作っている。

平成25年建築科就職状況

・東京ガス(資本金1418億円)など建築分野以外の大手

プ(業界売上トップ)など建築設計デザイン

工業、 東京急行電鉄(資本金1217 施工管理職 円)など

・その他4年制大学への推薦特待生入学













薩南工業高校建築科では、実習で身 つけた技術を活かして地域貢献活動

が目的である建築物に対し、 を設計し、本来雨風をしのぐこと る。安藤君は、雨好きの人が集ま 魅力あるデザインや設定が問われ た大会であり、より自由な発想の 品した。建築甲子園は県内の建築 を投じる作品を仕上げた。 る集合住宅「傘さ荘 (かささそう) インテリアを学ぶ高校生が参加し 会に、知覧中出身の安藤君らが出 月に行われた建築甲子園設計大

上写真:安藤君と製作作品。

できます。 れます。何よりものづくりの楽しさを再確認 に練習していく継続力や集中力も身につけら この検定を通して技術だけではなく、計画的 者だけではなく多くの生徒が受検しています。 は建築ものづくりの基本ですので、大工志望 出している技能検定について聞いた。 職員である鶴留悠樹先生に四年連続合格者を 霜出小、知覧中、薩南建築科出身であり本校 」と語ってくれた。

と思います

います。これからも継続していきたい 観や勤労観を学ぶ貴重な体験となって いうことを実感する機会となり、

動を続けていくことが恩返しになれば

られて現在があります。このような活 百年の歴史ある我が校は、地域に支え 施設に木馬を寄贈している様子です。 行っています。左の写真は地元の保

っては、ものづくりには相手がいると と考えています。また、生徒たちにと 〜指導者に聞 建築大工 国家技能検定 くく 鶴留

建築甲子園設計大会

作品出品

安藤真人

平成十五年卒業生 知覧中出身

南 薩南建築ものづくり 人の役に立ってこそ 九州 市 知覧 田丁